

人との関係に対する眼差し、意識を耕す

「ワークシート+コラム+対話」で気づきを深める。

身近なストーリーを題材に、考え、対話し、また考える。
個性に合わせて、支援者と語り合いながら進める「対話型教材」です。

「ルールが身につかない」「すぐにトラブルを起こしてしまう」「人の気持ちが分からない」など、社会性やコミュニケーション上の悩みを抱えているお子さんに対しては、つい注意や指導が多くなりがちです。なかなかお子さんの行動が改善されず、注意や指導を繰り返すこともあるでしょう。

この教材は、そのようなお子さんを含むすべてのお子さんに対し、実際に寄せられた相談・指導経験を踏まえて作成されたソーシャルスキル教材です。教材の前半は9つのソーシャルストーリー、後半は場面に応じた常識的な判断力を問うワークを6つ収録しました。いずれも日常を振り返り、お子さん自身の気づきや成長につながるよう構成されています。

体験したことを前向きにふり返るためのきっかけとして、また、まだ起こったことのない出来事を事前に学び、より適切な行動がとれるよう促すための素材として本教材をお使いいただき、「注意・指導」とは違う「スキル学習」の観点から、お子さんの社会性を育てていってください。

また、この教材は療育等の個別指導ばかりでなく、学校での一斉授業にもお使いいただけるように配慮した内容となっています。「本教材の使い方」や「取り組みの流れ」「解説 子ども理解の視点」など、支援者向けの解説やヒントも充実。指導の形態や場面に応じて、「読み上げる」「口答させる」「話し合う」など、柔軟にご活用いただけます。

- ◎9つのソーシャルストーリー、判断力を養う24の場面を集めた6つのワークを収録。
- ◎ストーリーにあわせて、子どもと読める「スキルアップ・コラム」も収録。
- ◎支援者の方の活用を助ける解説コラム「子ども理解の視点」9編掲載。
- ◎個別指導はもちろん、一斉授業でもご活用いただけます。



10歳からの

ソーシャルスキル トレーニング

B5判 64頁

定価 1,600円 (税別)

内容見本

本教材は授業や療育等で使用される場合に限り、複写可能です。
ただし本教材をお持ちの学校内、施設内に限ります。

ソーシャルストーリー編

■個別指導の例

- ① ソーシャルストーリーを読み、空読解問題ではありませんので、示すなど、より伝わりやすい
- ② どのようなお話だったかをお話
- ③ ワークシートの問題を読み上げ、回答については、必ずしも筆書きや、お子さんの発言を書きとめる
- ④ お子さんの回答を聞き、なぜそのような設問が続くときには
- ⑤ スキルアップ・コラムを読み

■集団指導の例

- ① ソーシャルストーリーとワークシート（上記①を参照）
- ② 一人ひとりでワークシートに記入
- ③ どのような回答をしたのか、どの
- ④ スキルアップ・コラムとふりかえりシートを記入し、ふりかえりシートを記入し、
- ⑤ 事前解説ページに、個別指導、集団指導の取り組み例を掲載

● ソーシャルストーリー

4 やるべき時に	なまえ	組	番	月	日
----------	-----	---	---	---	---

お話を読んで答えましょう

①ストーリーを読み、質問でまず「考える」

昨日の夜、マサヤさんは、ついつい長い時間ゲームをやっちゃって、宿題があまりできませんでした。まだ半分も終わっていません。

そのことを気にしていた マサヤさんは、朝学校につくと、自分の席にすわって宿題の続きをはじめました。

そこに、ヒカルさんがやってきて、マサヤさんに話しかけました。

- 2：ヒカルさんは、どのような子だと思いますか。あてはまるものすべてに○をしましょう。
- () 人のよくないところを、すぐに口に出して言う子
 - () のんびりしていて、おだやかな子
 - () いやなことがあると、すぐに手を出してしまう子
 - () 人の気持ちよりも「こうするべきだ」ということを大切に子
- ②回答の理由を確認
- 3：このお話の続きは、どうなったと思いますか。

スキルアップ・コラム

● ソーシャルストーリー4 やるべき時に

③コラムを読み、対話を通じてさらに考えを深める

やるべきことに、なかなか取り組みない時

やるべきだと分かっているけど、なかなか手につかないことはありませんか？ やるべきことをやらないままだと、ソワソワした気持ちになり、落ち着かないし、イライラもするので、よくありません。マサヤさんもゲームをしながら、どこかで宿題を気にしてははずです。また、早めに取り組まないと、後でこまったことにもなってしまいます。

「とりあえず10分がまわして、宿題をやらう！」「まず3問解いてみよう！」など、はじめに短めの区切りをつけながら、取り組んでみましょう。そうすると、一気にできてしまうかもしれません。

別ページに解答、解説を掲載

このストーリーには2つのテーマがあります。まず、「やるべきことがなかなか始められない」というお子さんに対して、コラムでは、「やるべきことを先送りすると落ち着かない」「あとで困る」ことを伝え、時間を短くともまず始めてみる」ということを提案しています。車の走り出しのように、始める時が一番負担感が大きいので、「まずこまめで」「まず〇分」など、短めに区切りをつけておくことで、取り組みやすくなる場合があります。「人の欠点を言ってしまう」というお子さんは、人の事は言うけれども自分もできないなど、様々な課題を抱えている事があります。この教材を通して、自分のことを振り返らせてあげましょう。その上でコラムを通し、進めし完璧にはなれないことや、できていないところを何度も言わないこと、いいところを見つけていくことの大切さ、人との関係の作り方など、お子さんに応じて話題をふくらませてください。

はんだんカアップ講座編

● はんだんカアップ講座

1 学校○×	なまえ	組	番	月	日
--------	-----	---	---	---	---

お話を読み、やっていいことや、よくないことをよく考え、やっていいことなら○、よくないことなら×を、() に書きましょう。

①ミニストーリーを 読んで考える

1：授業中、となりの席の子が、消しゴムのカスを丸めて飛ばしてきた。やめさせるために、その子の消しゴムを取り上げた。…… ()

②回答の理由を確認

2：クラスの話し合い。1月の球技大会でやるスポーツを決めていた。何人かの子が「ドッジボール」と言った。ほかに意見がなさそうだったが

スキルアップ・コラム

● はんだんカアップ講座1 学校○×

③コラムを読み、対話を通じてさらに考えを深める

1：×
授業中に消しゴムのカスなどを飛ばしあって、トラブルになることがあります。もし自分のところに飛んできたら、「やめて」と言ってもかまいません。それでも止まらないようでしたら、先生に伝えましょう。自分で相手のものを取り上げたりすると、トラブルになってしまうことがあるので、やってはいけません。

2：○
話し合いの場所で、自分の意見を言うことは大切なことです。この場合には一つの提案をただけですので、問題はありません。ただ、多数決で負けてしまったあとにも自分の意見にこだわらずに周りの意見にしたが

教材ご購入方法

① F A X または電話で申し込み、振込みで代金を支払う。

F A X 別添の申し込み書に必要事項をご記入の上、FAX 03-3485-4863 へお送りください。

電話 TEL 03-3360-1775 マインEラボ・スペースまでお電話ください。

※お電話の受付時間は、月～金曜日、10:00～18:00です。

② インターネット・ショッピングで買う。下記「たいらか公式オンラインショップ」をご利用ください。

たいらか公式オンラインショップ <http://tairaka.shop-pro.jp/>

お問い合わせ先

マインEラボ・スペース TEL.03-3360-1775

受付時間/月～金曜日 10:00～18:00